（別紙）

# リサイクルポート概要
## ～能代港～

能代港は、秋田県北部の米代川河口に位置する重要港湾であり、古くから県北地域で生産する林産品や鉱山資源を輸送する港として利用され、整備が進められてきた。

秋田県北地域では、これまでの産業活動で蓄積された木材加工技術、製錬技術、リサイクル技術、廃棄物処理技術などの優れた技術基盤を活かしたリサイクル関連産業を新たな基盤産業として展開するため、「秋田県北部エコタウン計画」を推進している。現在、能代港では外港地区の東北電力㈱能代火力発電所から発生する石炭灰のリサイクル事業を実施中であり、背後地である県北地域では廃プラスチック等リサイクル事業や廃電子基板などの非鉄金属含有プラスチックから有用金属を取り出すリサイクル製錬事業、汚染土壌の浄化事業等が実施されている。今後さらに、東アジア等から廃電子基板を輸入し有用金属を回収する国内トップクラスの新型炉を新たに本格稼働する予定である。

背後地域にこのようなリサイクル産業を抱える能代港は、今般のリサイクルポート指定により、発生するリサイクル関連貨物を取り扱う静脈物流の拠点港として、益々発展することが期待される。

